

★緊急時の対応【AED】★

AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態になった心臓の対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

当院にもありませんが、2004年7月より医療従業者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車はもちろんのこと、空港、駅、学校、公共施設など人が多く集まる所を中心に設置されています。

2022年中に一般市民の方が AED を使用した事例は1229件あるそうで、いざとなつて焦らないように、これを読んで少しでも役に立てばいいなと思います。

心肺蘇生の流れ

- ①安全の確認
- ②肩をたたいて反応がないことの確認
- ③助けを呼ぶ「119番を！」
「AEDを！」
- ④普段どおりの呼吸がないことの確認
- ⑤胸骨圧迫→→→→
- ⑥AEDで電気ショック

5 胸骨圧迫

胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで絶え間なく押します



AED は音声ガイドにしたがって操作します

1 フタを開けると 自動電源ON



2 電極パッドを胸に貼る



3 ボタンを押して 電気ショック



※オートショックAEDの場合は、装置が自動で電気ショックを行います。体から離れて電気ショックを待ってください。

救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続ける！！

AED ライフ参照

<p>緊急時にあせらず適切に対応できたらいいと思います。M.W</p>	<p>いざという時のために、時々確認しておきたいですね。(永)</p>	<p>緊急時がないことを願いますが、いざという時使えるように訓練が必要ですね。(ユウ)</p>	<p>急な出来事に自分が対応できるようなAEDの使い方も心肺蘇生を確信して覚えたいです。(H)</p>	<p>AED以外の救急対応も機会があれば積極的に学んで身につけておきたいと思います。A.Y</p>
	<p>12月に退職させていただきます。あと3か月よろしくお願いします。 中村雅子</p>	<p>いざという時は自分が対応できるようにしっかりと確認しておきたいと思っております。M.Y</p>	<p>多くの人がAEDを使いこなすように努力をお願いします。(Y)</p>	<p>"AED" 理解したいのが、パニッパニッ(ア)</p>